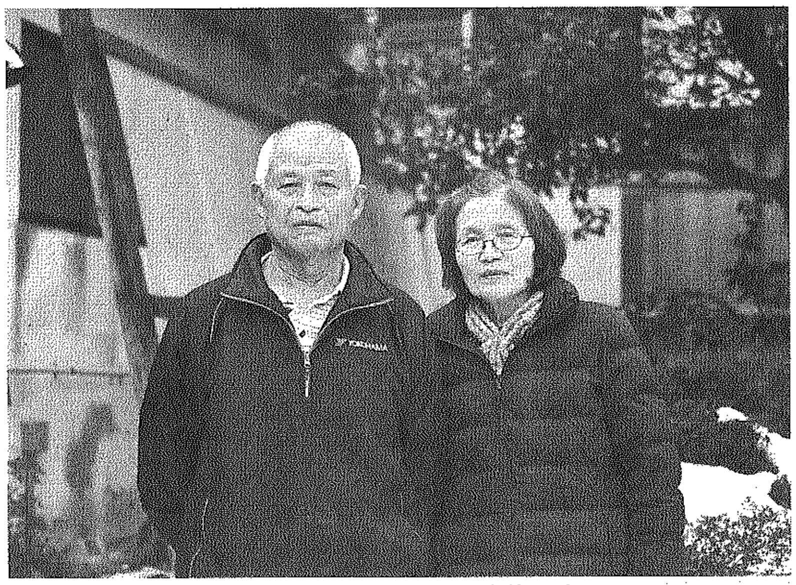
ご近所協力 自主避難

能登町笹川地区

能登半島 1.1地震

能登半島地震では、地域の人たちが一緒に自主避難をするケースが相次ぎました。震度6弱を観測した石川県能登町では、笹川地区に住む人たちが近所の倉庫に集まり、行政などの支援も十分に受けられないなか食料などを自分たちで持ち寄り、1週間ほど避難生活をしていました。

（前田智也）


「家の中もぐちゃぐちゃ」と自宅前で語る東俊子さん（右）と東茂さん（左）＝18日、石川県能登町

食・住・電気出し合う■支援物資届かぬ課題

「長くこの場所で暮らしているが、こんな地震は初めてだ」。同地区に暮らす東茂さん（75）は語ります。災害直後は、妻の東俊子さん（74）と息子の3人で地域の指定避難所となっている町立柳田小学校へ避難。「360人ほどが身を寄せ合っていました。使用できるトイレも一つしかなく、プライバシーも守られないので気が休まらなかった」と語ります。

身の安全を確保

「自宅の車庫にとどまっている近所の人もいました。それならば、顔見知りの人たちで集まって身の安全を確保しようと話し合いました」と、俊子さんは振り返ります。翌日から、笹川地区に住む10軒の町民20人余が鉄骨の倉庫に集まり、自主避難をはじめました。

種苗を営んでいる住民が発電機を所有しており、それを利用して各家庭から持ってきたストーブを稼働。プロパンガスをつないでガスコンロも使えるように。日中は倉庫で過ごし、夜はそれぞれの自家用車で車中泊。同地区の電気が回復した8日夕まで、この生活を続けました。

食料などの支援物資が届くのは、指定避難所までにとどまるケースがほとんどです。「指定避難所にいる人が声をかけてくれて、パンやカップ麺を取りに行く時もありましたが、向かった時にはほとんど何もないことがよくありました。そもそも、食料が届かない日もありました」（俊子さん）

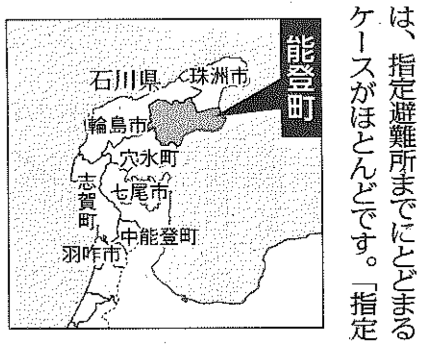
この地域では、1年分の米をまとめて購入して備蓄している家庭が一般的だといいます。茂さんは、「正月だったので餅もたくさんあった。みんな畑をやっているので野菜もある。断水が一番つらいが、山水も活用しながらしのぎました」と語ります。

自宅などで生活

現在は、それぞれが自宅などで生活しています。東さんの自宅は屋根の瓦が一部崩れ、ガラスが割れて壁にひびが入るなどの被害がありました。「何とか家族3人、自宅で過ごしています。近所では、金沢市や近県の親戚や家族のもとへ2次避難をした人もいます」（茂さん）

能登町でも大きな余震が毎日のように続き、気が休まらないといいます。

茂さんは「罹災（りさい）証明もこれから申請に行くが、どうなるか。疲れも出てきて、自宅の片付けもなかなか手につかない。もう少し落ち着いたら、これからのことを考えたい」と語りました。



パレスチナに
軍拡増税
辺野古強制代執

金権政治終わらせよう

総がかりなど「19日行動」

金権腐敗の自民党政治、岸田政権による「戦争する国」づくりを許さず、パレスチナ・ガザ地区での即時停

承認」「改憲発議・大軍拡やめろ」などボードを掲げ、800人（主催者発表）が参加しました。

政治を一刻も早く終わらせ、命が大切にされる社会を実現しよう」と強調しました。

オール沖縄会議の福

日本共産党の山添拓政策委員長、立憲民主党衆院議員、社民党の代表があいさつし、「沖縄の風」がメッセージを寄せました。山添氏は「自民党は派閥の解散より裏金疑惑の解明が求められている。暮らしも平和も破壊する自民党政治を終わらせ、憲法が生きる希望ある政治の実現へ、第一歩を踏み出す通常国会にしていこう」と訴えました。

ウクライナ侵略ノー

ロシア大使館前で抗議行動

ロシアは国連憲章守れ
ウクライナから出ていけ
NO WAR
ウクライナ侵略に抗議し中止を求めるロシア大使館前行動＝19日、東京都港区

日本平和委員会などが呼びかけ、ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、中止を求めるロシア大使館前行動が19日午前、東京港区・飯倉交差点で行われました。

日本平和委員会の千坂純事務局長は、「まもなく侵略から2年になるが、少なくとも1万人以上のウクライナの民間人が殺害され、600万人を超す難民が生まれ、家族が離散を余儀なくされた。1万8千人の子どもの連れ去りは国際刑事裁判所で断罪されている。イスラエルの蛮行と共に、ロシアの蛮行も断じて許すわけにはいかない」と、声を上げ続けると訴えました。

行動には、関東大震災での朝鮮人虐殺問題などを追究するフリーライターの加藤直樹さんが駆け付けて発言。「ロシアの侵略は、かつての日本帝国主義による朝鮮の侵略と支配に重なって見える。ウクライナの市民の発するツイッターには、図書館が爆撃されたなど、爆弾で毎日亡くなる人の情報が書き込まれている。こんな戦争はあってはならない」と語りました。

参加者は、「子どもを殺すな」「侵略止めよ」とコールしました。

安否不明22人 避難者1.4万人

石川県は19日、能登半島地震で連絡が取れない安否不明者は午後2時時点で前日から1人増え、22人になったと発表しました。死者は232人で変わりませんでした。

自治体が開設した避難所にはなお約1万4000人が身を寄せています。旅館やホテルなどの2次避難所に移った人は前日より約2000人増え、約2000人となりました。

停電は輪島市と珠洲市を中心に約7500戸、断水は8市町の約5万戸で続いています。

死者の内訳は珠洲市99人（うち災害関連死6人）、輪島市98人（同3人）、穴水町20人、能登町7人（同5人）、七尾市5人など。安否不明者は輪島市18人、珠洲市4人。

コロナ感染者 8週連続増加

厚生労働省は19日、全国約5000の定点医療機関から8～14日の1週間に報告された新型コロナウイルス感染者が1医療機関当たり8・96人だったと発表しました。新規感染者は8週連続で増加しました。

都道府県別では、岐阜が14・29人で最も多く、茨城（14・21人）、愛知（14・17人）と続きました。能登半島地震に見舞われた石川は10・48人で、前週から2・04人増加。地震の影響で患者数の報告が困難だったとして、能登半島北部の医療機関は含まれていません。

一方、同じ期間に報告されたインフルエンザの新規感染者は、1医療機関当たり12・99人で微増となりました。40都府県で注意報の基準（10人）を超え、最多は宮崎の22・90人でした。

横須賀基地PFAS流出調査

米軍、結果公表拒否

米海軍横須賀基地（神奈川県横須賀市）のPFOSなどの有機フッ素化合物（総称PFAS）流出問題で米軍は、「PFOSの値は安定している」として、サンプリングした水の分析結果の提供には応じない姿勢を示しました。防衛省の担当者が18日、横須賀市を訪問して伝えました。

米軍がPFAS除去のために設置していた粒状活性炭フィルターを2023年10月に稼働停止させ、日本側に報告していなかったことが12月に明らかになった際、市が防衛省を通じて分析結果の公表を求めていました。

市側は防衛省に対し、改めて分析結果の公表を要望。それができなければ基地内への立ち入りと市独自のサンプリングを実施できるよう調整してほしいと求めました。

米軍は当初結果を公表していましたが、23年7月、「フィルター

表を求め続けるよう

く要望しました。

大村洋子市議団

「値が安定している

言うなら公表すべ

だ。そうでなければ

民の不安は払しょく

きない」と話してい

す。

第558回ロト7
数字選択式
全国自治宝くじ（19日）
【本数字】
15 20 21 22 23 26 34
【ボーナス数字】06 10
1等（　該当なし　）
2等（940万8900円）
3等（107万2100円）
4等（1万1100円）
5等（1600円）
6等（1100円）

初夢宝くじ　第2448回
西日本宝くじ　（19日）
1等（1億5000万円）
49組　101473
1等の前後賞（2500万円）
1等の組違い賞（10万円）
2等（100万円）
各組共通　161171
138136

初夢宝くじ　第2762回
近畿宝くじ　（19日）
1等（1億5000万円）
53組　186697
1等の前後賞（2500万円）
1等の組違い賞（10万円）
2等（100万円）
各組共通　151550
150696

初夢宝くじ　第2578回
東京都宝くじ　（19日）
1等（1億5000万円）
01組　119057
1等の前後賞（2500万円）
1等の組違い賞（10万円）
2等（100万円）
各組共通　175052

初夢宝くじ　第2640回
関東・中部・東北自治宝くじ　（19日）
1等（1億5000万円）
73組　134333
1等の前後賞（2500万円）
1等の組違い賞（10万円）
2等（100万円）
各組共通　120487

第6386回ナンバーズ
数字選択式
全国自治宝くじ（19日）
【ナンバーズ3】　091
ストレート
（8万3800円）
ボックス
（1万3900円）
セ　ストレート

高橋　千劔破

6日、腎がんのた